

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22106	事業名	肥料価格高騰対策事業		評価分類	A2			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署 部 産業環境部 課 農林振興課 農林政策G			
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		予算科目	会計	01:一般会計				
	基本施策	03:農林業の振興			款	06:農林水産業費				
	施策の方向	01:農業経営体の育成・確保			項	01:農林水産業費				
重点プロジェクト	-		目		03:農業振興費					
事業期間	R 4 年度 ~ R 4 年度		主な根拠法令等	-						

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	ロシアによるウクライナ侵略等の影響により、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇し肥料価格が急騰したため、農業経営の負担が増加している。このことから、持続可能な農業経営に向け、化学肥料低減の取り組みを推進するとともに、早急に農業経営への影響を緩和する必要がある。	化学肥料の低減等に取り組む販売農家(国の肥料価格高騰対策事業を活用する市内に住所又は主たる事業所を有する販売農業者)	農業経営への影響を緩和するとともに、化学肥料の使用量の低減を進め、持続可能な農業経営を支援する。	化学肥料の低減に向けて取り組む農業者に対し、前年から肥料費の上昇分の15%の補助金を交付する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○支援金の交付				
	活動実績 (計画通り実施できたか)	化学肥料の低減等に取り組む販売農家122者に対して、秋肥分の補助金交付を実施した。また、春肥分については、国が予算の繰越しを行ったため、それに合わせて予算を繰越し、令和5年度に補助金交付を実施する。				
計画額	事業費	12,900千円	1,800千円			
		国・県支出金	12,900千円			
		地方債				
		その他				
	一般財源	0千円	1,800千円			
決算額	事業費		1,307千円			
		国・県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源		1,307千円			
①期間内事業費(R4-7)		12,900千円	②期間外事業費(R8-)	0千円	①+②総事業費	12,900千円

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	12,800千円
次年度への繰越額	11,000千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	支援金を受給した農業者(累計)	成果	者	計画値	500			
				実績値	122			
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	秋肥分は122者の交付であったが、春肥分の交付で主となる稲作の販売農家を400者程度見込んでいることから、計画値の500者を鑑みると、秋肥分については農業者に対して、適切に当該補助金を交付できた。それにより、肥料価格高騰の農業経営への影響を緩和するとともに、化学肥料の使用量の低減を進め、持続可能な農業経営を支援することができた。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
化学肥料の低減等に取り組む販売農家(国の肥料価格高騰対策事業を活用する市内に住所又は主たる事業所を有する販売農業者)	農業経営への影響を緩和するとともに、化学肥料の使用量の低減を進め、持続可能な農業経営を支援する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	国が予算を繰り越したことに伴い、市の予算も繰り越すこととなったため、春肥分については事業を継続して補助金を交付する必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容
	令和5年度で対応する(した)もの 予算を繰り越すことにより事業を継続する。また、農家に対する周知を含めた補助金交付を適切に実施する。
	令和6年度以降で対応するもの

【履歴】	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A			
事業展開	継続(現状維持)			

1次評価者	産業環境部 農林振興課 農林政策GL 鳥喰 さとみ
最終評価者	産業環境部 農林振興課長 水越 洋光